



【明徳学館創設】
※前列中央
石田鏡徳先生

明徳學館修學部
學則並ニ入學案内

吾 何をなしつつあるか
吾 何であるか

大學ノ道ハ、明徳ヲ明ラカニスルニ在リ。
民ニ親シムニ在リ。
至善ニ止マルニ在リ。
止マルヲ知リテ而ル后ニ定マルコト有リ。
定マリテ而ル后ニ能ク静カナリ。静カニ
シテ而ル后ニ能ク安ンズ。安ンジテ而ル
后ニ能ク・處ル。處リテ而ル能ク得ル。

館 學 德 明

【明徳学館入学案内】

特集

学校法人名古屋石田学園 創立 80 周年記念事業ご報告



学校法人 名古屋石田学園

〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32
TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003

星城大学・大学院

星の城幼稚園

名英図書出版協会

星城高等学校

専門学校星城大学リハビリテーション学院

法人本部事務局

星城中学校



学校法人 名古屋石田学園

令和2年度より3年間にわたり「名古屋石田学園 創立80周年記念寄付」へ皆様方からお陰をもちまして、現在までに以下のとおり、事業の計画・立案を行うことができました。



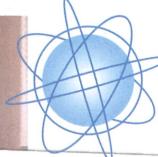
星城大学

1 With コロナの時代の大学改革

本学では、学生への情報発信ツールとして、大学内の学務システムを整備し、学生への連絡や履修登録等を行っています。

コロナ禍において、日頃本学が行ってきた各種情報発信や学生面談等、学生との接点や情報共有方法が大きく変わらざるを得ない状況となりました。

「With コロナの時代の大学改革」の一歩として、この学務システムを強化し、学生の修学記録、学生生活の記録等、学修成果の可視化を行うことで、遠隔地でも学生が本学で取り組んだ結果を見ることが出来る仕組み等、整備を進めています。



1 卒前教育の充実 <教育機器備品の拡充>

<教育機器備品の拡充>を予定しています。教育カリキュラムに即した教育備品、研究活動を支援する教育備品の拡充を目指します。

【具体的な拡充予定】

- * TSB式下腿義足・シリコンライナー・スポーツ用（カーボンプレート）
- * ベントニー義足
- * 金属支柱付き短下肢装具
- * プラスチック短下肢装具
- * サッチヒール短靴
- *マイオモーション



【教育機器備品の拡充・教育環境の充実を目指します】

2 卒後教育の充実 <星誕会（同窓会）活動への支援>

<星誕会（同窓会）活動への支援>を検討しています。希望調査をふまえて対応します。

【具体的な支援予定】

- * 卒後研修会
- * 講師謝礼支援
- * プロジェクターの購入

3 社会情勢に対応する 教育環境の充実

<社会情勢に対応する教育環境の充実>を進めています。新型コロナウイルス感染症の対応を目的としています。

【具体的な充実予定】

- * UV-C置型空気殺菌機
- * 遠隔型講義の拡充（ICTツール各種）
- * その他感染予防対策消耗品

創立80周年記念事業ご報告

多大なるご支援を賜わりました。ご支援を賜わりました全ての皆様に心よりお礼申し上げます。皆さまよりいただいたご寄付の実績・使途取り組み状況をご報告いたします。

星城高等学校 / 星城中学校

2 社会に貢献できる人財づくりをすすめるための 地域社会との連携事業

地域社会との連携事業として、豊明市内の敬老会やNPO法人などの各種団体と協働して、「花溢れる街づくりプロジェクト」を実施しています。

また、「地域協創プロジェクト」では、地域課題解決をテーマに市長や市役所の職員の方々から、市としての認識や取組などの話を伺い、地域課題の発見・解決に向けた啓発物の開発・啓発物の提案を行っています。

今後も引き続き、生徒たちが安心して学校で過ごせる環境と快適な学習環境の整備拡充に取り組んでまいります。

1 探究学習等のための校内の 環境整備・施設拡充

校内の教育環境整備や施設の充実を順次、図っています。

高等学校の2号館校舎の大規模改修、中学校では英語ルームを設置しました。また、中学校・高等学校ともに教室をはじめとした校内各所のLED照明への取替を実施したほか、トイレの改修や空調設備を更新し、生徒たちの学校生活の環境改善も進めています。

今後も引き続き、生徒たちが安心して学校で過ごせる環境と快適な学習環境の整備拡充に取り組んでまいります。

【安心して過ごせる環境・快適な
学習環境の整備拡充を行っています】



3 石田鍼徳先生奨学金の拡充

学校での生活態度や勉学への取り組みが、他の生徒の模範になるような生徒に対して、石田鍼徳先生奨学金を授与しています。（現行制度は毎年4名の生徒に授与しています。）制度が創設された当初と社会背景も変化し、経済的にも豊かになってきたこともあり、学校独自の奨学金制度を見直す機会と捉えております。対象や基準、人数や金額の範囲を見直し、今まで以上に生徒の活動を讃えることが可能となるような奨学金制度の拡充を検討しています。

星の城幼稚園

子どもたちが主体的に遊べる環境と 体づくり充実



星の城幼稚園は、令和3年に創立50周年を迎えました。そして、名古屋石田学園は創立80周年を迎えました。

この記念する年に、園舎南館のカーテンウォールの新設などを実施し、翌令和4年には園庭整備として、人工芝とグリーンサンドを敷き詰め、側溝の整備を実施しました。

皆様にご寄付いただきました寄付金を、これらの事業にあてさせていただきました。今後も貴重なご寄付を星の城幼稚園のさらなる魅力のために、活用させていただきたいと思っています。



【たくさんあそぼう！】



【陽射しいっぱいの明るい遊び場が広がりました】

学園創立 80 周年記念ご寄付への御礼



令和 3 年度、名古屋石田学園は「創立 80 周年」を迎えました。そして 3・4 年度に「星の城幼稚園 50 周年」、「星城高等学校 60 周年」、「星城中学校 30 周年」、「星城大学 20 周年（明徳短期大学 33 年）」と、皆様のご支援とご協力のもと、各校が創立記念周年を迎えるました。

これを機に一層の躍進を遂げるべく、皆様方に浄財を求めるところ、多数の方々からご賛同とご寄付を賜りました。心から厚く御礼申し上げます。各校とも事業計画を立てて依頼申し上げましたが、お陰様で総額 1 億 2 千万円余のご協力をいただき、自下、生徒・学生の教育活動に活用させていただいております。

名古屋石田学園の始まりは昭和 16 年、明徳学館の創立です。昭和 20 年の敗戦を経て今日の Society5.0 時代へと、大きく社会情勢、教育環境が変化してまいりました。しかし、青少年の育成は国家の大計であり、とりわけ本学園・石田謙徳先生の教育理念は人間育成、人格高揚の具現化であります。年月を経ても変わるものではありませんし、評価をいただき、私共の誇りとするところです。

本来ならば、皆様をご招待申し上げ、今までの感謝と反省、将来計画等をご報告すべきでしたが、コロナ禍のため式典等は学内だけで簡素に済ませました。ここに周年事業の経緯をご報告申し上げ、感謝の意を表します。

今後ともご鞭撻の程、伏してお願い申し上げます。



学校法人 名古屋石田学園
理事長・学園長 石田 正城

創立 80 周年記念ご寄付 総額 120,846,902 円 ありがとうございました



<令和 4 年度 寄付者御芳名録>

名古屋石田学園 80 周年記念寄付へのご協力に、厚く御礼申し上げます。
ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、令和 4 年 7 月以降（令和 4 年 7 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日現在）にご寄付いただいた方の御芳名をここに掲載させていただきます。
なお、上記期間より前にご寄付いただきました方々の御芳名につきましては、前号（61～64 号）に掲載させていただきました。

【法人】

株式会社 アイコン 様
愛知 株式会社 名古屋本部 様
愛知スズキ販売 株式会社 様
株式会社 ITP 様
株式会社 アートクリーン工業 様
株式会社 安藤組 様
磯部電気保安管理事務所 様
有限会社 一粒社 様
株式会社 エヌアイジー 様
有限会社 オオタ写真館 様
株式会社 教育施設研究所 様
グローバルアイディアル 株式会社 様
株式会社 正文館書店 様

株式会社 ジンキャスト 様
株式会社 中京スポーツ施設 様
株式会社 ディスコ 様
ナルコ 株式会社 様
株式会社 日鉄コミュニケーションズ 名古屋支店 様
株式会社 三菱UFJ 銀行 柳橋支店 様
株式会社 ヤマゾー 様

【学園関係】

星城大学 後援会 様

【個人】

井口 友美 様 田中 修司 様
池内 知子 様 出口 克美 様
伊藤 猛 様 中谷 直史 様
入江 啓介 様 西川 励子 様
大立 美和 様 濱島 正好 様
大橋 義定 様 松熊 裕美 様
大洞 武夫 様 松原 緑 様
岡田 博則 様 安井 信人 様
小林 とよ 様 山本 雄介 様
佐々木 裕嗣 様 米津 浩二 様



名古屋石田学園寄付サイト

～80 周年の寄付は終了いたしましたが、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。～

- ・五十音順に掲載させていただいております。
- ・お名前の公表を希望されていない方については、掲載しておりません。
- ・ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれています等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、法人本部事務局（052-689-6002）までご連絡願います。

特集

目標せ！

令和 5 年度がスタートするにあたり、「目標せ！」と題して各校校長に意気込みを語っていただきました。

星城大学 学長 石田 隆城

目標せ！「自分づくり大学」

本学は「信頼と信用の人財づくり学園」という 2025 年ビジョンを描き、2025 年度に向けた第 5 次中期計画では、「教育の品質改善」や「やりがいのある職場づくり」「OB と地域等との関係づくり」「価値の見える化」を中心事業を進めています。

現代の大学生は、大学での学修に対する不安のみならず、自分の能力や将来に対する不安など、沢山の不安を抱えています。そんな不安を乗り越えるためには、学生が自ら自分自身を磨き上げ、新しい自分を造っていく「自分づくり」が必要です。「自分づくり」は本学の大切なキーワードで、創立者が「建学の精神」を纏めたときの言葉である「日々に新たなる“我”を磨き上げ造っていく」が語源になっています。

学生の「自分づくり」を支えるために、教職員も自分自身と大学を磨いています。

- ① 「知識のみならず、知識の使い方を学ぶ」教育の品質管理と改善
- ② 業務改革とやりがいのある職場づくり
- ③ 科学研究費補助金取得率の向上と研究の活性化
- ④ 地域との関係強化
- ⑤ 卒業生との強靭なネットワーク形成

私達は、地域の人財づくりの拠点となる「自分づくり」大学を目指してまいります。



星城中学校・星城高等学校 校長 石田 泰城

目標せ！「挑戦」

この 3 年間は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、いろいろな活動が中止・縮小・延期され、生活のあらゆる場面が制限される事態となりました。今まで、当たり前だと思っていた事が、当たり前でなくなり、大きな変化と臨機応変な判断が必要とされました。

そのような状況で、「前年度と同じようにやれないからあきらめる」のではなく、「どうしたらできるのか」と発想を切り替えて、「失敗を恐れず挑戦」することが大切だと思います。誰もが失敗はしたくないと思っているでしょう。しかし失敗を恐れて「やめてしまう」のは簡単ですが、これでは前に進むことができません。

星城中学・高校で過ごす時間は、自分で高い目標を定めて、絶えず挑戦し続けて欲しいと思います。挑戦すると決めたら、成功するための十分な準備をしてください。どれだけ完璧な準備をしたつもりでも、想定外の出来事が発生し、失敗することもあります。準備をするから、失敗しても、そこから学ぶことが沢山ありますし、失敗体験がその先の大きな成功につながると確信しています。

これからも生徒には、常に「目標せ！挑戦」の気持ちを大切にしてほしいと思いますので、応援よろしくお願いします。



目標せ！「しあわせ幼稚園」

～すべての園児と保護者と教職員のために～

星の城幼稚園 園長 宇佐美 すみれ

1 年の総仕上げの「生活発表会」に向けて、子どもたちと全教職員が心を合わせて取り組んでいます。もちろん、星の城幼稚園名物「桶狭間出陣太鼓」の音も響いています。

今年度は満 3 歳児のクラスを 20 名（1 クラス）から 46 名（2 クラス）に増やし、多くの年少組入園につながりました。その満 3 歳児（つぼみ組）の保育室が職員室の隣にあり、毎日ぎやかな声が響いています。ある朝のこと、つぼみ組の園児がおもちゃを目の前で落としました。拾って渡すと「せんせい、ひろってくれてありがとう。」の言葉がありました。園児の成長にとってもうれしい気持ちになりました。子どもたちの「やりたい」気持ちを大事にして、主体性を育てる保育を実践しています。

令和 5 年もそんな保育を目指し、コミュニケーションの年と名付けて星の城幼稚園の保育の意味を全教職員が共通理解し、保護者にお伝えしていくこうと思っています。それが、しあわせ幼稚園につながっていくことになると信じています。



目標せ！「プロフェッショナルの育成」

専門学校 星城大学リハビリテーション学院 学院長 坂口 勇人

臨床現場で貢献できる理学療法士に視点をおき、その育成に力を注ぎ、多くの臨床家の卵を輩出してきました。
日々研鑽し、学院の成熟とともに教育の精度を高めてきました。

来年、開学 20 周年を迎えるにあたり、更なる高みへと眺めますと、検討すべきことが散見できます。その中で学生を指導・支援する側の練度を高めることも重要な鍵と捉えています。本学の教職員は理学療法のプロであり、教育者としての熱意も十分です。しかし、教授術は未熟な点も見られます。事務職員も学生の窓口業務を通じて生活支援の一助を成しています。

教育方針「HIT's」は臨床家として必須の要素です。「人間性」・「主体性」を育むためには、学生たちの生活全般を踏まえ、指導・支援しなくてはなりません。学園の「建学の精神」を礎に、学生・教育職員・事務職員が三位一体となり、臨床のプロ育成を目指し邁進し続けます。



学園アカルト

「学内業界研究会」開催

今年度も就職活動の開始に向け、星城大学経営学部生対象に、就職活動支援イベント「学内業界研究会」を2月7(火)、8(水)、9(木)日の3日間開催いたしました。3日間で65社の様々な業界の企業様にお越しいただき、業界の仕組みやその企業の理念や働き方、就職活動方法など詳しくお教えいただきました。



【会場にはブースがいくつも並びました】



【商品に触れて理解を深めます】

参加した学生は延べ243名に上り、「同じ業界でも様々な形態があることがわかった」「少人数で話を聞いて、質問がしやすかった」など、非常に有意義な研究会となりました。

ご協力いただきました企業の皆様に感謝申し上げますとともに、これを機に学生が自身の夢をつかむ一歩となることを期待し、引き続きキャリア形成、就職活動支援に尽力してまいります。

「全国高等学校選抜大会」出場者紹介

「スポーツの星城」を代表して、この春に全国の舞台で活躍した選手・チームを紹介します。

「全国選抜大会」は、競技により、年末の12月から年度末の3月にかけて開催されています。「選抜」以外に「全日本」「選手権」「新人」「杯・カップ」の銘が打たれたり、「ジュニアオリンピック」と兼ねて実施される競技もあります。全国高等学校選抜大会の結果は、星城高校ホームページをご覧ください。

星城高等学校



レスリング部

日程：3月27日(月)～29日(水)
会場：新潟市東総合スポーツセンター

- ◆男子団体戦出場
- ◆男子個人戦出場者
 - ・55kg級 満永大樂
(知立市立知立中学校出身)
 - ・60kg級 足立鼓太郎
(一宮市立尾西第三中学校出身)
 - ・65kg級 小笠原煌将
(高浜市立南中学校出身)
 - ・71kg級 野村健斗
(あま市立甚目寺南中学校出身)
 - ・80kg級 丹下愛大
(あま市立甚目寺南中学校出身)



剣道部

日程：3月27日(月)～28日(火)
会場：春日井市総合体育館

- ◆男子団体戦出場



ソフトボール部

日程：3月18日(土)～21日(火)
会場：鹿児島市南栄リース桜島グラウンド



柔道部

日程：3月20日(月)～21日(火)
会場：日本武道館

- ◆男子団体戦出場



空手道部

日程：3月23日(木)～25日(土)
会場：福岡市総合体育館

- ◆男子団体組手出場
- ◆女子団体組手出場
- ◆女子個人組手出場者
 - ・-59kg級 齋藤美羽
(東郷町立春木中学校出身)



寒さ厳しい「健脚会」

1月27日(金)、厳しい寒さの中、健脚会を開催しました。名古屋城往復コース(42km)を予定していましたが、降雪の予報を受け半日で完歩できる、鶴舞公園に集合し学校を目指すコース(16km)に急遽変更しました。予報通り途中から、雨と雪が混ざる天候に見舞われました。寒さのため、くじけそうになる生徒も見受けられましたが、グループ内で励まし合い完歩することができました。

ゴールできた後に、困難を乗り越えた達成感を分かち合っているのが印象的でした。疲れた彼らを温かく迎えたのが、保護者の皆さまより振る舞われた豚汁でした。冷え切った体を温め、心身ともに癒されました。

悪天候で開催すら危ぶまれましたが、生徒の開催したいという強い思いに、保護者の皆さま、我々教員が心を動かされた行事となりました。生徒からも開催できること、保護者の皆さまへの感謝の声が多く聞かれました。



【仲間で励まし合い、ゴールを目指します】

「寒さにだって負けないよ」

零下の気温になると気象予報があった日、先生たちはバケツやたらいに水を張って帰りました。翌朝、登園した子どもたちは「こおりだ」「つめたい」「つめたいけどもてるよ」と大騒ぎです。落として割れたり、溶けたりするのも初めての経験の子もいます。寒い日には雪が降ったり、氷が張ったりする自然現象に触れた一日でした。



【元気にかけまわります】

また、寒い時でも体を動かしてほしい、体を動かすと暖かくなることを感じてほしいとマラソン週間を設けています。先生や友達と一緒に「がんばるぞー」と声を掛け合い、園庭や隣の森裏公園を走りました。「先生、手がポカポカしてきたよ」「気持ちいい」と子どもたちです。



【こおりにきょうみしんしんです】



【こおり、もてたよ！】

現場で役立つ「接遇セミナー」



【実習先を想定したロールプレイング】

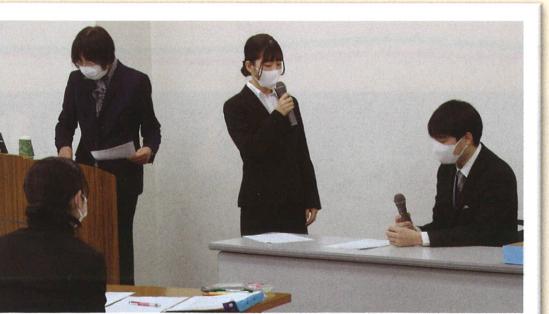
1年生は初めての参加ということもあり、少し緊張している様子でした。また2年生は1年生のお手本となるように取り組み、昨年の復習ができる良い機会となりました。

今回のセミナーで学んだことを活かし、実習先で多くのことを体験、吸収し今後の活動につなげていけるよう期待しています。

星城大学リハビリテーション学院

1月17日(火)に外部講師をお招きし、1・2年生を対象とした「接遇セミナー」を実施しました。

セミナーでは、実習時の服装や電話対応等の職場での基本となる姿勢から、コロナ禍が続いている中、マスクで表情が見えないため、どのようにして患者様へ感情を伝えるか等の対応も、ロールプレイングを交えながら学びました。



【2年生がお手本になります】

40年の歴史に幕

星城高等学校 「石田杯」大会



【第38回 石田杯争奪中学招待剣道大会】

多くの中学生が参加してきた石田杯は、昨今の社会環境の変化等により、今年度最終回を迎えました。開催にあたっては多くの方々にご支援・ご協力いただき、感謝申し上げます。星城では今後も、また新たなかたちで生徒たちの心を育むべく、スポーツの推進を図ってまいります。

40年もの歴史を誇る石田杯が今年度をもって幕を閉じました。

石田正城理事長・学園長が32歳で星城高等学校の校長に就任した際、霸気に欠ける生徒たちを奮起させるべく、スポーツの振興を企画したのが石田杯の起源です。最初はバスケットボールから始まり、柔道、剣道、ソフトボールの大会が行われ、スポーツを通じて生徒たちの人間性を育んでいきました。

さらに、学校が何かひとつでも強剛なチームを持ち、生徒たちが誇りを持てるようになればとの思いから、生徒のスカウトにも繋がる中学生対象のスポーツ大会「石田杯」が開かれました。当時石田杯は、尾張、三河地方の学校が試合で交流できる貴重な大会として注目されました。

オリンピック選手をも輩出し、長きにわたり多

星城懇話会 会員交流会



【西川千雅家元】

11月28日(月)、「星城懇話会会員交流会」が名古屋東急ホテルにおいて開催されました。

3年ぶりの開催となった今年のイベントでは、75年以上の歴史ある日本舞踊の名物公演「名古屋をどり」で知られる西川流四世家元の西川千雅師を講師にお迎えし、講演会が行われました。

「芸どころ名古屋の伝統文化」と題し、昨年大きくリニューアルされた「新生名古屋をどり」の魅力について、映像を織り交ぜながらの楽しいお話をうかがいました。

さらに、西川流の歴代家元が困難を乗り越え、守り続けてきた伝統、それを継承する厳しさについて語ら

れた大変興味深いご講演に、会員の方々は熱心に耳を傾けていました。

講演会の後は、感染防止に配慮しながら名刺交換、企業PRなど異業種交流を図り、親睦を深めました。

交流会には130名と多数のご参加をいただき、参加者皆が久しぶりの交流を楽しむ実りある会となりました。



【最後は参加者一同「名古屋ナモ締め】

星城懇話会 会員募集中!

星城懇話会では、教育的・文化的な分野を中心に年間通して事業を開催し、様々な事業を通じて、会員の皆様の交流や啓発、地域貢献を行っています。今後も楽しく魅力ある事業を企画してまいります。

＜星城懇話会事務局＞（学校法人名古屋石田学園法人本部内）

〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002 FAX 052-689-6003

MAIL konwakai@seijoh-u.ac.jp



【webサイト】